

# あおもり漁連

故 植村正治氏 書

## 甦れ!! 協同組合運動

No.  
173



2年連続で一番乗りのお客様

### CONTENTS

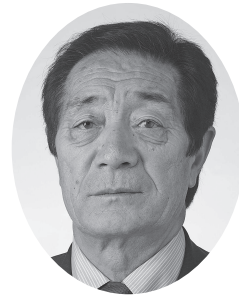
|                              |    |
|------------------------------|----|
| 県内系統・関係機関・年頭ごあいさつ .....      | 1  |
| 全国系統団体・年頭ごあいさつ .....         | 7  |
| 2021年度漁協運動功労者表彰 .....        | 10 |
| 漁業経営支援対策に関する緊急要請(不漁対策) ..... | 11 |
| 令和3年度陸奥湾密漁取締訓練開催 .....       | 14 |
| 年末あおもりお魚フェア開催 .....          | 15 |
| 第49回「海をきれいにする運動」入賞作品紹介 ..... | 17 |

2022.2

資源・金融・共済の三本柱推進



## 令和四年 県内系統・関係機関 年頭ごあいさつ



青森県漁業協同組合連合会

代表理事会長

松下 誠四郎

昨年の漁業情勢は、海洋環境変化に伴う深刻な漁獲不振に加え、収束の見えないコロナ禍における行動制限の影響を受け、流通及び消費の停滞による魚価の低迷と、燃油・漁業用資材価格の高騰が追い打ちとなり、極めて厳しい漁業経営を強いられる年となりました。

本県では、ホタテ養殖漁業は高値推移と安定生産により好調だった一方で、漁船漁業においては、主力のスルメイカやサケの漁獲不振により、過去最低の歴史的大不漁となりました。

更には、クロマグロ資源管理にともなう収入減少に加え、それ以外の魚種においても総じて漁獲が落ち込み、浜は疲弊した状況が続いております。

また、昨年8月の下北・風間浦地区を中心に発生した大雨被害と八戸沖で発生した貨物船座礁事故では甚大な被害を受け、未だ各方面へ影響を残している状況にあります。

本会では、国・県に対し、浜の窮状を訴えるところにも、漁業版事業継続支援金創設による経営対策や、燃油高騰に係る基準の緩和と基金の確保等、漁業経営の維持継続にむけた支援と対策を講じていただくよう、粘り強く要請して参ったところであります。

また、新漁業法による新たな資源管理の取り組みと、水産業を成長産業化と位置づけた国の方針を両立するため、3000億円を超える水産予算を有効活用し、浜の活性化と漁業所得向上の推進に努めて参ります。

組合員の高齢化・減少等による総体的な取扱いの落ち込みや、職員の減少等により小規模漁協が増加し、在立基盤を維持できず経営難となる傾向が見受けられ、総合事業体として組合員の負託に応えられなくなるといった状況が危惧されることから、早急に経営基盤強化対策に着手し、新たな合併方針に基づいた広域合併完遂による本県

漁協組織の基盤強化を図って参ります。

福島第一原発事故に起因するアルプス処理水については、国は「海洋放出の方針」を表明しましたが、漁業者・国民の理解を得られない海洋放出はJFグループとして断固反対という立場に変わりなく、事故以来信頼回復に向け取り組んできた努力が風評被害等により無駄なものとならないよう、全漁連・関係道県と連携し引き続き国としての対応を強く求めて参ります。

コロナ禍において、新たな生活様式への対応が求められる情勢ではございますが、本県水産業の持続的發展に向け、役職員一丸となり邁進して参りますので、より一層の御支援・御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様方のご健勝とご繁栄、そして、海上安全と豊漁を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



青森県農林水産部

水産局長

山中 崇裕

明けましておめでとうございます。

本県水産業の振興と発展に御尽力いただいている皆様に謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

昨年は、本県の主力魚種であるスルメイカやサケ、サバの不漁に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、需要の落ち込みなどにより一部の魚種で市場価格が低下したほか、8月には、風間浦村やむつ市大畑町を中心とした大雨災害や八戸沖での貨物船座礁事故が発生し、地域の漁業活動に大きな打撃を与え、今なおその影響が続くなど、本県漁業にとっては非常に厳しい1年となりました。

一方、陸奥湾の養殖ホタテガイについては、巣ごもり需要の増加などにより量販店向けやインターネット販売が好調であったほか、単価の向上も見られ、2年ぶりに生産金額100億円を超えました。

また、2015年から漁獲規制を進め、厳しい資源管理に取り組んできた太平洋クロマダロについては、昨年12月7日に開催された中西部太平洋まぐろ類委員会（WC

PFC）において、大型魚の漁獲枠を21年比で15%増やすことや、漁獲枠の未利用分を翌年に繰り越す上限を5%から17%に引き上げる特例措置の3年間の延長が決定されたところであり、これまでの漁業関係者の皆様の努力が着実に実を結んでいるものと考えています。今後も、漁獲枠の順守により、太平洋クロマダロ資源の安定・増大に努めていく必要があると感じています。

このような中、県では、令和5年度を目標年とする第四期「攻めの農林水産業」推進基本方針において、本県農林水産業の持続的成長と共生社会の実現に向けて、収益力強化を図る産業政策と、共助・共存の農山漁村づくりにつながる地域政策の両面から、積極的に施策を展開しているところです。

特に、水産業においては、一昨年に施行された改正漁業法を踏まえた資源管理型漁業や、ヒラメ、サケ、サクラマスなどのつくり育てる漁業の着実な推進に加え、市場価格の高いアイナメやマツカワの種苗量産技術の開発、若者世代の県産魚介類の消費拡大、漁業就業者の育成・確保対策、漁港

や藻場を核とした漁村のにぎわいを創出するための「漁業体験ツール」の開発などに積極的に取り組んでいます。

関係者の皆様におかれましては、深刻な漁獲不振や新型コロナウイルス感染症の影響により、なお先行きが見えない状況ではありますが、県では、本県漁業の安定と成長に向けて取り組んで参りますので、より一層の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

結びにあたり、皆様のますますの御健勝と御繁栄、そして操業の安全を心からお祈りしまして、新年の御挨拶といたします。





## 東日本信用漁業協同組合連合会青森支店 青森県マリンバンク運営委員会

運営委員長 西山里一

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、青森県の漁業者の皆様並びに漁協系統関係者の皆様に謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

はじめに青森県信用漁業協同組合連合会は、JFグループの一員として、地域に密着した漁業金融機能を安定的に提供し続けるため、令和3年4月1日に志を同じくした東日本ブロック十一地域の信用漁業協同組合連合会と合併し、「東日本信用漁業協同組合連合会青森支店」として新たな船出をしたところでございます。

さて、新型コロナウイルスの影響により一年延期となっていた東京オリンピックが7月に開催され、日本代表選手は、多くのメダルを獲得し、日本国民に勇気と希望を与えてくれました。しかしながら、緊急事態宣言下でのオリンピック開催は、無観客試合など、過去に経験のない開催方法であったことから、本来期待できたであろう経済効果が生み出されなかったことは、非常に残念なことでございます。

次に、本県の漁業につきまして、ホタテ漁業は、巣ごもり需要などの影響によ

り価格が上昇し、2年ぶりに100億円の大台を突破したことは、非常に喜ばしいことでございますが、鮮魚類につきましては、主力魚種であるスルメイカやサケを始め、多くの魚種において水揚げが年々減少しているところへの7年ぶりとなる世界的な原油価格の高騰は、漁業経営や生活面において追い打ちをかける形となり、今後はさらに厳しい経営を強いられるのではないかと危惧しております。当支店といたしましては、最優遇貸出金利を基準とした東日本信漁連の統一商品である「JFマリンバンク浜活性化応援資金（長期運転資金）」を金融商品の品揃えの一つとしつつ、皆様からの新たな借入や借入条件の変更等のご相談・申込みに対し、金融相談機能を発揮しながら、円滑な金融仲介の役割が果たせるよう全力で取組んで参ります。

次に、当支店の事業状況ですが、令和3年11月末で貯金残高は605億49百万円、貸出金残高81億9百万円となり、概ね順調に推移しております。これも一重に皆様のご支援の賜物と感謝いたしております。

貯金業務につきましては、令和3年度末残高585億円を当支店の目標として、「JFおさかなマルシェギョギョイチ」を柱に貯蓄推進を行っております。

貸出業務につきましては、令和3年度末残高84億円を当支店の目標として、これまで同様に制度資金または漁業経営アシスト資金を活用した設備資金や新築・リフォームに対応した住宅資金のほか、期間限定ではございますが、金利を軽減したマイカーローンや教育ローン、フリーローンなどのキャンペーンを展開しております。また昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により漁業の生産性が低下した皆様に対しての「マリンセーフティネット資金」や、水産業競争力強化緊急事業における「漁船リース事業・機器導入事業」などで皆様のお力になれるよう、行政、関係機関と連携の上、対応していく所存でございます。

結びといたしまして、皆様方のますますのご健勝とご多幸を祈念いたすとともに、これまで以上に皆様の漁業経営や生活を支える役割を果たしていく所存でございますので、これからもJFマリンバンクへの変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。





## 全国漁業信用基金協会 青森支所

担当理事

奈良岡 修一

新年おめでとうございます。  
令和四年の輝かしい新年を皆様とお迎え  
することができましたことを大変うれしく  
存じます。

日ごろ当協会の業務につきまして、県、  
市町村、関係機関より格別の御指導、御協  
力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、最近の漁業を取り巻く情勢は、漁  
場・資源環境の劣化、漁撈コストの高騰、

そして、漁船の高船齢・老朽化、更には、  
漁業者の高齢化や就業者の減少等により、  
依然として厳しい状況が続いております。

このような時こそ、漁協並びに漁業者の  
皆様そして私ども「系統団体」が一丸とな  
り、その役割を発揮することが必要と考  
え、当協会としましても関係機関と連携  
し、厳しい環境下にある漁業者の経営並び  
に生活の維持・安定を持続的に図るため、

国の事業である、TPP関連対策に係る水  
産業の競争力強化を促進する、「競争力強  
化型無保証人資金」、そして、漁船の適切  
な更新を促進する「浜の担い手漁船リース  
緊急事業」に係る金融支援事業に加え、本  
県独自の「沿岸漁業推進関連資金」や後継  
者対策に資するための漁家環境の向上を目  
的とした「事業関連住宅資金」、新型コロ  
ナウイルス対策沿岸漁業推進関連資金に加  
え、今年度は沿岸漁業不漁に係る長期運転  
資金を創設し、保証料の2分の1を助成す  
る等の対策をとっており、引き続き積極か  
つの確に推進して参る所存であります。

結びに、皆様のますますの御繁栄と御健  
勝並びに海上安全をお祈り申し上げ、新年  
の御挨拶といたします。



## 日本漁船保険組合 青森県支所

運営委員長

福島 哲男

新年明けましておめでとうございます。  
令和四年の新春を迎え、組合員、漁業  
協同組合、水産関係団体の役職員の皆様  
に心から新春のお慶びを申し上げます。

令和三年の本県の漁業・水産業界を取  
り巻く環境をみますと、八戸沖で貨物船  
が座礁し撤去作業の長期化による油濁損  
害の懸念や、異常気象による大雨災害等  
が発生している中、主要魚種のスルメイ  
カやサケの不漁が深刻化するなど、漁獲  
量は最低だった昨年を下回るペースで推

移し、又新型コロナウイルス感染症によ  
る魚価低迷や、燃料・資材の価格高騰に  
より漁業経営がいつそう厳しさを増して  
いるという一年でありました。

当組合は、新型コロナウイルス感染症  
の終息を見通すことができない中、業務  
の継続を基本に感染防止を図り、漁船保  
険事業の円滑な運用に努めることとし、  
漁業経営の安定に資するという漁船損害  
等補償制度の目的を踏まえ、引き続き本  
支所間の相互の連携を密にして業務の効

率化等に鋭意取り組むとともに、漁業者  
の信頼に応える漁船保険事業の推進をし  
て参ります。

又、事故防止事業を拡充して実施して  
おりますが、昨年と同様に無事戻事業、  
整備点検事業、船舶自動識別装置助成金  
交付事業を通じて、加入漁船に係る事故  
の未然防止に積極的に取り組む、漁船保  
険事業のさらなる拡充に努めて参ります。

今後とも漁船保険は、漁船漁業のセー  
フティーネットとしての役割を果たすた  
め、巨大災害に対する備えとしまして、  
すべての漁業者に安心を提供できますよ  
う未加入船の加入推進に鋭意取り組んで  
参ります。

漁業者のための漁船保険たる理念のも  
とに、漁業者の信頼に応えられるよう、  
迅速な事故対応や事務処理の効率化に努  
め、一層の保険サービスの向上に役職員

一丸となって取り組んで参りますので、関係各位のなご一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終りに、新型コロナウイルス感染症の終息と皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます

ます。



## 青森県漁業共済組合

組合長理事

三津谷 廣 明

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新春にあたり、皆様の本年のご多幸を心よりご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、一昨年に引続き我々の生活は大変窮屈なものとなりました。そのような中、経済回復の起爆剤として人々の希望であった東京オリンピック・パラリンピックは無観客で開催されるなど、コロナ禍による日本経済の減退は水産物需要の減少による魚価の低迷をもたらし、本県水産業界にも大きな影響を及ぼしました。また、それに追い打ちをかけるように自然災害が多発し、北海道の赤潮被害や小笠原諸島の海底火山「福德岡ノ場」の噴火に伴う大量の軽石漂流など、これまで経験したことのない漁業被害が全国各地で発生したほか、本県では8月に下北を襲った集中豪雨によって、むつ市、風間浦村の漁村に大きな被害をもたらし、八戸沖では貨物

船の座礁により重油が流出、周辺の漁業関係者はいままなおその影響を受けています。被害を受けられた関係者の皆様には謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い漁場回復をお祈りいたします。このように地球環境、漁業環境の急激な変化を感じ、非常に厳しい漁業経営を強いられる一年となりました。

このようななか、令和3年度の本県の引受実績は、長期化する不漁等による水揚げ額の低下、休廃業の増加などにより、過去最高実績であった令和元年度を境に年々減少傾向となっております。一方、支払については、コロナ禍の巣ごもり需要による品薄感から養殖ほたては高単価に恵まれ、昨年度のようなむつ湾全域での大きな支払いは見込まれないものの、漁船漁業については、主力のするめいか・さけのほか様々な魚種の不漁に加え、コロナ禍の影響を強く受けて魚価安が生じ、昨年度同様大きな支払いが見込

まれます。「ぎよさい」と「積立ぶらす」によって不漁や自然災害、コロナ禍での厳しい漁業経営を支えることができ、漁業経営を取り巻く環境は厳しさを増してきており、漁業経営のセーフティーネットとして「ぎよさい」と「積立ぶらす」の果たす役割が更に重要になってきています。

水産業の将来に向けた改革が進められていくなかで、「漁業収入安定対策の機能強化及び法制化」が引き続き水産庁で検討される予定です。漁業経営の安定は水産改革の推進において不可欠であり、漁業者等からの「ぎよさい」と「積立ぶらす」への期待はかつてないほど高まっています。この期待に応えるために、これから漁業者の方々に自然災害対策・経営安定対策として「ぎよさい」と「積立ぶらす」を活用していただけるよう、より良い制度の実現に向けて引き続き声をあげて参ります。

最後になりますが、コロナ禍の影響が続くなか、普及推進にご理解・ご協力頂いている漁業関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。今後もしばらくは予断を許さない状況が続きますが、ワクチン接種の効果等によって、感染者数が減少傾向となり、一日も早く収束することを願っております。これから人や物の移動

制限が徐々に緩和されることで経済活動が活性化し、水産物消費の拡大や魚価の回復に繋がることが大いに期待されま

す。新たな一年が災害のない豊漁・豊作となることを祈念するとともに、漁業経営を守る「ぎよさい」と「積立ぶらす」

のより一層の浸透・定着に努めて参りますので、皆様の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



農林中央金庫青森支店

支店長 清水 雅夫

県下漁協組合員の皆様ならびに漁協系統団体の役職員の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

また、漁協系統事業全般にわたる皆様の日々のご尽力に深く敬意を表しますとともに、私ども農林中央金庫の業務に關しまして、平素より多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けておられる皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

さて、国内漁業情勢につきましては、記録的な不漁が継続し、本県におきましても、主要魚種であります、スルメイカやサケの不漁が深刻化しており、そこに追い討ちをかけるかたちで新型コロナウイルス感染拡大に伴う魚価低迷や、原油価格高騰等による燃油・資材価格高騰も重なり、漁業経営を圧迫しております。

このような情勢を受け、行政におきましては、水産庁が、国内における近年の

イカ、サケ、サンマの複数年にわたる不漁を、地球温暖化や海洋環境変化に起因する長期的な問題と捉え、2021年4月より計4回にわたり「不漁問題に關する検討会」を開催し、要因の分析、背景のあり方等を検討しております。今後の水産資源にかかる持続性の確保にあたっては、約70年ぶりに見直された改正漁業法に基づく新たな資源管理システムの実行により、科学的な資源評価に基づく魚種ごとの数量管理が求められていくものと思われまゝ。また、農林水産省も、SDGsの世界的な浸透を受け、2021年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定し、食料・農林水産業の生産力向上と持続性を、イノベーションにより両立していくことを掲げております。

さて、世界経済に目を転じますと、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種拡大に伴い、景気回復の継続は見込まれるものの、経済活動再開に伴うエネルギー価格の高騰、労働力不足、新たな変異株の感染拡大等により、回復が鈍化することも懸念されます。

日本経済につきましても、ワクチン接種普及により、日常生活における制限が段階的に緩和され、回復の兆しが見られるものの、変異株の感染拡大が懸念され、予断を許さない状況にあります。

金融業界におきましては、長期にわたる低金利環境や、人口減少等により、地方銀行の統合が進む等、経営環境は引き続き厳しく、JFマリンバンクにおきましても、安定的、効率的な事業運営を目指す中で、県域を越えた組織再編の検討が進み、2021年4月に東日本地区の信漁連が合併し、東日本信漁連が発足しております。

私ども農林中央金庫といたしましては、JFマリンバンク、協同組合組織の一員として、漁業者所得の向上、ならびに地域振興等に一層努めて参りますので、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、本年の豊漁と、県下漁協組合員の皆様ならびに漁協系統団体の役職員の皆様のご健勝とご繁栄、安全を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 令和四年 全国系統団体 年頭ごあいさつ



全国漁業協同組合連合会

代表理事会長 岸

宏

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、全国の皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

振り返りますと、昨年はJFグループの歴史の中でも極めて厳しい1年となりました。新型コロナウイルスの感染拡大、海洋環境の変化に伴う記録的不漁、漁業用燃油価格の高騰、北海道太平洋沿岸における赤潮被害や沖縄県・鹿児島県等沿岸における軽石漂着被害などを受けて、浜では産出額が落ち込み、生産の基盤となるJFの経営においても売上高、営業利益が減少し、影響等の長期化が懸念されております。

そのため、漁業者ならびにJFグループでは、新漁業法の下、新たな資源管理の推進をはじめ、自ら改革を実践し、成長産業化を成し遂げるために、諸対策の確立を関係要路に強く要請しました。その結果、要望事項を網羅するかたちで、4年連続で3000億円を超える予算を確保しました。ここに改めまし

て、会員並びに関係の皆様のご協力・ご支援に對しまして御礼申しあげます。

さて、本年は新たな水産基本計画の策定の年にあたります。我々漁業者は、改正漁業法に基づく新たな資源管理の推進等について、自らの課題として取り組んでいく必要があります。併せて、漁業の成長産業化と資源管理の2つを両立させ、近年顕著となっている海洋環境の変化を十分に踏まえた上で、新たな資源管理や栽培漁業を推進していくことが重要です。これらを踏まえ、我々は、浜の改革と資源管理の実践者である漁業者の理解と納得を得た上で進めていただくよう、国に對して求めていく所存です。

併せて、昨年度から取り組んでいるJFグループの運動方針に則り、新たな資源管理を前提とした世代交代の円滑化と低年齢層での自立が行われる循環型の生産構造を目指すほか、担い手育成、合併等組織再編、産地市場統合、販売事業改革、浜プランの後押しなどに

取り組み、浜の構造改革を実現して参ります。今後も新型コロナウイルスとの戦いは続き、この脅威と向き合っていくには国によるコロナ対策・支援が不可欠です。JFグループでは、漁業全体が失った販売先・販売量・魚価を回復させるため、国が策定した対策を引き続き活用するとともに、プライドフィッシュプロジェクトや産直通販サイト「JFおさかなマルシェ ギョギョいち」などを通じて、国産水産物の消費拡大の一翼を担って参ります。

また、東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の問題については、本会の「漁業者・国民の理解を得られないALPS処理水の海洋放出には、JFグループとして断固反対」という立場に変わりはなく、引き続き国としての対応を強く求めて参ります。会員をはじめ、関係者の皆様におかれましては、これまで以上に英知と総力を結集していただき、漁業の成長産業化に向けて、引き続きのご理解・ご協力を頂きたくお願い申し上げます。

最後になりますが、全国各地でご活躍の皆様のご安全とご繁栄・ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。





全国共済水産業協同組合連合会

代表理事会長

福原正純

## 3か年計画最終年度に向けて

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、浜の皆様にご挨拶と新春の慶びを申し上げます。

平素よりJF共済に格別のご高配を賜わり、心から厚く御礼申し上げます。

はじめに、2020年より引き続き新型コロナウイルス感染症により様々な影響を受けました全国の漁業関係者ならびに地域住民の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。また、地震や豪雨等の自然災害によりまだ不自由な暮らしをされています方々へ、一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は、海外における感染の再拡大や国際的流通環境の悪化に加え、国内では長期化した緊急事態宣言等により、魚の販売数量の減少、鮮魚市などのイベントの中止など、漁業においても非常に厳しい状況が続く、水産物の需要や価格の回復に向けて先が見えていない状況が続いています。

また、不安定な国際情勢を背景とする世界的な原油価格の高騰に加え、少子高齢化に伴う漁業従事者の減少、気候変動・海洋環境の

変化等による不漁は、漁業者やJFにとってますます厳しい環境となっています。

いっぽう、2020年12月に改正施行された漁業法において国は、「水産資源の適切な管理」と「水産業の成長産業化」の2つを両立させる水産改革を実施し、水産日本の復活に向けて大きく舵をきり、この実現に対しての取り組みを始めたところです。

このような中、JF共済は、2020年度を初年度としたJF共済3か年計画「浜の安心を未来へ」ひろげよう共済の輪」において、「JF組合員・世帯構成員および地域住民に対して、JF共済を広く浸透させ、JF共済の輪の拡大」を図るとともに、JF・JF共済連が一体となった共済推進体制の整備、JF共済事業をささえるJF役職員・JF共済連職員の育成」、「JF共済連の組合員・世帯構成員・地域住民の保障ニーズに応じた共済制度の開発、JF支援態勢の強化およびJF共済の健全性・信頼性の強化」などの主要施策を展開しております。

2022年度は3か年計画の総仕上げの最終年度であります。

昨年10月に新しく開発された介護共済を全戸訪問活動の機会を通じて全組合員への案内を行うとともに、保障点検活動と生涯生活保障設計に結び付け、「浜のあんしんサポート運動」を積極的に展開してまいります。

これにより各都道府県のJF共済推進本部およびJFと一体となり、共済事業量目標の達成に向けて、取り組んでまいります。

また、JF事務の軽減、共済連業務体制の集約による効率化を目的とする共済事務の改革「業務改革」と共済連の内部管理態勢の強化など「組織管理改革」を推し進めてまいります。

引き続きご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





# 謹賀新年



## 青森県漁業協同組合連合会

代表理事会長

松下 誠四郎

副会長理事

南谷 雅人

専務理事

熊木 正徳

理 事

三津谷 廣明

〃

二木 春美

〃

山口 隆治

〃

富田 重基

〃

坂井 幸人

代表 監事

山本 幸宏

監 事

尾崎 幸弘

〃

今進

ほか職員一同

## 東日本信用漁業協同組合連合会 青森支店

運営委員長

西山 里一

ほか役職員一同

## 全国漁業信用基金協会 青森支所

担当理事

奈良岡 修一

ほか役職員一同

## 日本漁船保険組合 青森県支所

運営委員長

福島 哲男

ほか役職員一同

## 青森県JF共済推進本部

本部長

三國 優

ほか役職員一同

## 青森県漁業共済組合

組合長理事

三津谷 廣明

ほか役職員一同

## (一社)青森県漁港漁場協会

代表理事

船橋 茂久

ほか役職員一同



# 2021年度漁協運動功労者表彰

全漁連の2021年度漁協系統功労者が決定し、本県から漁協運動功労者として、東日本信漁連青森支店 西山里一氏、漁業振興功績者として三沢市漁協の門上氏、平内町漁協の飯田氏がその功績を認められ受章されました。

## 受章者



### 漁協運動功労者

にし やま さと いち  
**西山里一**

(75歳)

JF白糠 代表理事組合長

JF東日本信漁連 経営管理委員

(旧)JF青森信漁連

(元)代表理事会長

#### <功績内容>

平成29年6月、青森県信用漁業協同組合連合会代表理事会長へ就任、マイナス金利等の影響による厳しい金融環境の下、地域に密着した漁業金融機能を安定的に提供し続ける為には、広域合併が必要不可欠と考え、東日本信用漁業協同組合連合会の設立に大きく貢献した。



### 漁業振興功績者

かど かみ かおる  
**門上馨**

(84歳)

JF三沢市

刺網漁業

ほっき桁網漁業

#### <功績内容>

昭和46年より50年余に渡り漁業に従事するとともに、東日本大震災時には、組合長として行政に働きかけ、早期の漁業復興・組合再建に大きく寄与した。

また、魚市場の高度衛生化、スルメイカのブランド強化等、今後の漁協発展に向けた基盤を築いた。



いい だ  
**飯田カオル**

(85歳)

JF平内町

ほたてがい養殖業

#### <功績内容>

漁協女性部発足当初より積極的に参加協力し、製品の開発や、地域イベント等に協力し、ホタテの消費拡大に努めるとともに、漁業者の健康づくりを目的とした講習会の開催や、健康診断受診を推進する等、長年にわたり貢献した。

## あおり漁連

青森県では、令和元年度から県内の漁協・農協女性部と連携し、女性部員の皆様の健康づくりを目的とした体験型の健康セミナーの開催や、健康づくりに取り組む漁業・農業の方々を紹介するリーフレット等の作成に取り組んでいます。



新深浦町漁業協同組合  
北金ヶ沢女性部  
会長  
伊藤満由美さん(61歳)  
| 深浦町 | 漁業 |

# 健康だからこそ、 活動的な毎日が 送れます。

### 健康づくりを楽しく意欲的に!

新深浦町漁業協同組合北金ヶ沢女性部の活動について、ハツラツとした口調で語ってくれた会長の伊藤さんは、4年前から現職に就いています。「年齢とともに、腰が痛いとか腕がさがらないとか、周りからそんな声が聞こえていたんです」。そんな時、町の保健師から健康づくりに一緒に取り組みたいと相談を受けたことをきっかけに、漁協女性部と町が連携して運動教室を開くことに。腰痛改善を主な目的とした運動教室は、「とにかく楽しくて、1時間があっという間。普段使っていない筋肉も動かせるし、気分もほぐれるし」。和気あいあいと楽しみながらできると大好評だったことから、次の年からは女性であれば誰でも参加できるよう間口を広げました。「みんなで集まって、笑いとともに時間が過ぎる。痛みの改善はもとより、ストレス発散にもなっているよう」とのこと。「来年は回数をもっと増やしたい」と意欲的です。

### 健康診査の受診率を上げたい

伊藤さんがもう一つ重要視しているのが、定期的な健診受診です。自分や家族だけでなく、「忙しい中でも定期的に受けてもらえるよう、お願いしてまわっています」と、地域全体の受診率を上げる活動も。

「がん検診が、がんの早期発見につながり、漁師に復帰できた例もあるんです。おそろかにして欲しくないですね」と、その重要性を訴えます。ご自身も健診の結果を加味して、今はご飯の量を少なめにしているんだとか。「真冬以外は週に2、3度、近くの岸壁を30分ほどウォーキングしています」と、適度な運動も心がけています。

### 料理教室で地場産の素晴らしさと郷土愛を伝えたい

女性部では地域の中学校で年に4回、料理教室も実施しています。そのうち1回は、真いかを使った塩辛づくり。残りの3回は、その時々旬の海産物を使った郷土料理中心のメニューだそう。「素材を無駄にせ



普段使っていない筋肉を動かすと気分もほぐれます。

## 漁業は健康な体が資本！定期的に健診・がん検診を受けましょう

➤「私は元気だから大丈夫！」というあなた…

⇒元気な時こそ健診・検診で自分の健康状態をチェック。

がんや、脳卒中・心筋梗塞等の原因となる高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病は、最初のうちは自覚症状がなく、気がつかないうちに進行していきます。

元気なことを確認するためにも、年1回の特定健診と定期的ながん検診の受診が重要です。



# 自動車を使用する事業所は **安全運転管理者の選任が必須** です!

## 安全運転管理者の

### 選任

一定台数以上の自動車の使用者は、自動車の使用の本拠(事業所等)ごとに、自動車の安全な運転に必要な業務を行う者として**安全運転管理者の選任**を行わなければなりません。

自動車の保有台数に応じて副安全運転管理者の選任が必要になります。  
安全運転管理者・副安全運転管理者になるには一定の要件があります。



乗車定員が11人以上  
の自動車1台以上

または



その他の自動車5台以上

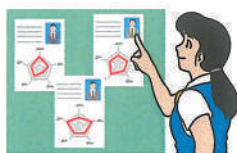
※自動二輪車(原動機付自転車を除く)  
は1台を0.5台として計算

## 安全運転管理者の

### 業務



交通安全教育



運転者の適性等の把握



運行計画の作成



交替運転者の配置



異常気象時等の措置



点呼と日常点検



運転日誌の備付け



安全運転指導

## 安全運転管理者の

### 届出

- 安全運転管理者等を選任した時は、その日から15日以内に事業所を管轄する警察署に必要書類を提出してください。
- 安全運転管理者の制度に関するご不明点は、都道府県警察のホームページをご覧ください  
だくか警察署へお問い合わせください。



令和4年  
4月より

安全運転管理者による  
運転者の運転前後のアルコールチェックが  
**「義務化」**されます。

令和4年  
4月1日施行



運転前後の運転者の状態を目視等で確認することにより、  
運転者の酒気帯びの有無を確認すること



酒気帯びの有無について記録し、  
記録を1年間保存すること

令和4年  
10月1日施行



運転者の酒気帯びの有無の確認を、  
アルコール検知器※を用いて行うこと



アルコール検知器を常時有効に保持すること



※呼気中のアルコールを検知し、その有無又はその濃度を警告音、警告灯、数値等により示す機能を有する機器

安全運転管理者の制度に関するご不明点は、  
都道府県警察のホームページをご覧ください  
だくか警察署へお問い合わせください。

令和4年2月

〈発行〉青森県漁業協同組合連合会 青森市安方一丁目1番地32号 TEL017-722-4211(代)  
〈印刷〉ワタナベサービス株式会社